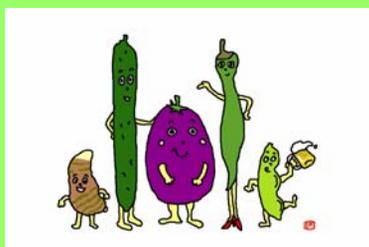


日時：
2008年 3月 7日(金)
13:00～17:00

場所：
ホテルセントノーム京都
平安の間

京都市南区東九条東山王町19-1
電話:075-682-8777
<http://www.centnovum.or.jp/>

アクセス：
JR京都駅八条東口から東へ
(左へ)徒歩2分



新しい生物農薬の開発と実用化



安心感・信頼感の高いワクチン接種キュウリ苗のオンデマンド供給



乳酸菌を使った世界初の微生物農薬を開発する



第7回植物バイテクシンポジウム 「新しい生物農薬の開発と実用化」

- 13:00 開会挨拶
13:10 (1)ズッキーニ黄斑モザイクウイルスワクチンの開発と実用化
1)研究課題の全体概要・地域適応性の優れたワクチンの選抜
小坂能尚(京都府農業資源研究センター応用研究部 部長)
13:40 2)分子生物学的手法を用いたワクチンの地域適応性の迅速評価
夏秋知英(宇都宮大学遺伝子実験施設 施設長・教授)
14:05 3)高品質ワクチン接種苗の効率的な量産化
塩見寛(タキイ種苗株式会社研究農場病害虫グループ チーフ)
14:30 4)高力価ワクチン製剤の作製とリスク評価
梁宝成(株式会社微生物化学研究所研究開発部 研究員)
14:55～15:15 — 休憩 —
15:15 (2)乳酸菌を利用した微生物農薬の開発と実用化
1)研究課題の全体概要・植物病害を防除する乳酸菌の選抜と実用性の評価
津田和久(京都府農業資源研究センター応用研究部 主任研究員)
15:45 2)乳酸菌による防除機構の解明
辻元人(京都府立大学大学院農学研究科 講師)
16:10 3)乳酸菌の製剤化と安全性・保健機能の評価
梅村賢司(明治製菓株式会社生物産業研究所 主任研究員)
16:35 総合討論
17:00 閉会挨拶

【参加申し込み先】

参加費は無料ですが、事前に申し込みが必要です。参加希望の方は、E-mailまたはFAXにて、氏名・所属機関を明記のうえ、平成20年2月26日(火)までにお申し込みください。定員は200名、先着順とさせていただきます。

〒619-0244 京都府相楽郡精華町大字北福八間小字大路74

京都府農業資源研究センター・応用研究部 小坂 能尚(こさか よしたか)

E-mail: sympo@kab.seika.kyoto.jp FAX 0774-93-3528

* お申し込みいただいた方の氏名・所属は参加者数の事前把握にのみ利用します。

主催: 京都府農業資源研究センター 共催: 京都植物バイテク談話会 協賛: 社団法人農林水産技術情報協会

【案内】京都植物バイテク談話会 <http://www.2.kpu.ac.jp/assoc/kpba/>